



日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌

ベタンチックは物知り
頭すること、學者ぶる
態度、小根なこと、不
可通なことで、ベタン
トは先生、學校教師の
網でもあるがまた學者
ぶる人、術學者、學識
を誇り頭する者をも云

ガソリン動車の 運轉回数減少協議

今廿七日平驛樓上に於て

鐵道省では非常時下に備へる 係長等今廿七日午後三時半
燃料國策上からガソリン節約
を企圖し機動車及び省費自動
車を運轉回数を減少すること
に決したので其の爲め平驛を
中心とするガソリンカーの運
轉關係である湯本、久の瀧
平、小川郷間各驛長外水戸事
務所から高橋所長、瀨江運轉

護國の散華二柱に 今日内郷村の村葬

同村御廐の第一校々庭にて 加藤、廣井両勇士を弔ふ

石城郡内郷村出身加藤政英伍
長、廣井孝三技工兩勇士の今
次事變に於ける護國の散華に
對して同村では今廿七日午
後一時内郷御廐の第一小學校
庭に村葬を執行した式には遺
族を初め村長、村議、學校職員
並に各名譽職その他在郷軍人
分會、青年團、消防組及び各
種婦人團體及び隣接市町村長
郡有志の一般村民の參列
ありて護國の靈を弔ふに應は
しき盛儀を極め護國の二
勇士に各代表者から多數の弔
辭と燒香ありて同三時過ぎ式
を終つたが青沼平市長の弔辭
は左記の如くである、
謹みて故陸軍歩兵伍長加藤
政英、故陸軍技工廣井孝
三兩君の英魂に奠す、兩君

薄磯沖四百米で アグリ漁船難波

乗組員は救助されたが 船体は目下引揚中

廿六日午後八時頃石城郡豊間
村の薄磯沖四百米ぐらゐの
海面に於て茨城縣川尻銀行經
營のアグリ漁船十五名乗込み
が暗礁に乗り上げ内一名行方
不明となつたので姉妹船であ
る茨城縣廿七號小貝丸によ
り前記の乗組員だけ救助され
て仲の作港に寄港したが地元
では右難波に對して直ちに消
防員並に水難救濟會員等
現場に消ぎつけ救助に手を盡
したが夜間の爲め作業意の如
くならず止むなく引上げて今
二十七日早朝から同船の引揚
げに努力されてゐる

鎮守に武運祈願後 入營兵の歡送宴會

平市で明廿八日聚樂館に於て 出席者約七百名の盛會

平市では既報せる本年度入營
兵八十四名の歡送會は明二十
八日午前九時縣社子會館鎮守
社前に武運長久祈願の後聚樂
館で簡素な宴會を催されるが出
席者約七百の多數で青沼市長の
歡送の辭は左記の如くである、
本日を下し縣社子會館神社
の大門に於て本年入營せら
るべき渡邊君外八十三名
の武運長久を祈り其の壯途
を祝福せんが爲め嚴肅なる

とに奮興するは大和民族の
使命であると同時に我建國
の大精神でありまして建國
愼々三千年傑として之れを
證し今や滿洲國は日滿不可
分の關係を永遠に持續して
鞏固なる獨立國として益々
全なる發展を見るに至りま
したが發展なる彼の匪賊は
未だ全く終絶せず加之今次
の支那事變は帝國不動の國
策たる東洋長久平和の上に
一抹の暗影を投ずるに至り
まして我帝國は斷然起つて
破邪顯正の劍を執り征戰茲
に四月有餘皇軍の獨ふと
ころ空に陸に海に連戦連捷
河北山西の難險上海江蘇の
鏖、相闘いて陥落し最近又
蘇州を陥れ輝かしき戰果を
收めつゝありますことは
元より、天皇陛下の威威に
依ることは白すも畏き極み
であります諸君の先覺た
る我忠勇無雙の出征將士の
奮闘努力の結果でありまし
て吾々國民の感謝感激情
況はさる所であり、併
しながら現下東亞を繞る國
際情勢は極めて微妙複雑で
ありまして事態の推移決し
て臆測を許しません從て國
民の覺悟も亦一段の緊張を
要する秋であります此の秋
に當りまして我忠勇なる出
征將士各位に對し衷心より
感謝を捧げ益々後奉公の赤
誠を致し國民精神總動員の
進言を休めず實後事項の背
及徹底に努め今後長期に
如何に展開し如何に長期に
直るとも吾々國民は舉國一
致盡忠報國、堅忍持久の大
決心を以て皇國聖戰の大使
命を遂成し皇運を扶翼し奉
らなければならぬと確信す
るものであります、而して
帝國は益々に獨逸と防共協
定を結び今又世界の強國

伊大利も之に参加し日獨伊
の三國防協定が成立した
し、進んで居ります其の勢
力は決して侮るべからざる
のみならず益々擴張するの
情勢にあるのであります、
斯る情勢に於ける他の歐洲
諸國は今次の支那事變に際
し帝國の自衛的手段に對し
九ヶ國條約及び不戰條約の
違背なりとして動もすれば
列國の干渉を誘致し以て南
京政府の排日政策を援助す
るが如き結果を招来せんと
する態度を示し時局の前途
尙遠慮でありまして長くも
去る十一月十二日北支内蒙
方面の出征將士各位に對し
優渥なる勅語を下賜はり今
又聯合艦隊支那方面艦隊並
に上海戰線の將士各位に具
さに其の艱苦と力戦とを察
せられ深く其の勳功と忠烈
を嘉し給ひ更に其の志氣を
鼓舞し給ひ有難き勅語を拜
し奉りかゝる光榮に浴した
る皇軍の將士各位と共に吾
々國民の全國民に亦た恐懼
感激に勝へざる次第であり
まして偏に深厚なる聖慮に
報ひ奉らんとするの覺悟を
新たにするものであります
斯の如き國歩艱難も重大
なる秋に際しまして諸君は
選ばれて帝國の干城たるの
名譽をかち得ましたことは
大日本帝國男子の本懐これ
に過ぐるものはないと信じ
ます之れ故に諸君最大の名
譽なるのみならず平市の
譽を光榮とするところで
あります希くは益國家の爲
め健康に留意せられ帝國軍
人たるの使命を完ふし神明
の加護に因り盡忠報國の大
義を致し以て聖旨に報ひ奉
らるることを切望して已ま
ざるものであります、聊か

郡下小學生の 劍道大會

來月十日平市で 石城郡下小學校の第四回劍道 大會は平、植田、四倉の三校 分會主催で來る十二月十二 日前九時から平第二小學校講 堂に開催されるが選手は各校 から各五名づゝ(但し前同團 体リーグ戦で優勝したるのを 除く)で試合の方法は團體の リーグ戦である

國防費に獻金

平市市南町一九瀬谷新平氏は 今二十七日國防費に十圓の獻 金を寄託し同時に金二圓を市 の軍事後援會に寄附した

海軍作業廳の 見習募集

職紹介所で輪旋 平市職業紹介所では海軍作業 廳の見習工教育生の募集を輪 旋中であるが右は高等小學校 年の卒業生と明春三月同校卒 業生を採用するもので志望者 から寫眞及び申告書、身体檢 査書と共に他の小學校長の内 申書を來る十二月十五日まで に受け付け試験は同提出書類を 考査の上期日に追て通知する ことになつてゐる

土木課長來平

河川工事を視察 河合本縣土木課長は今二十七

日正午來平し平市の新川改修
工事その他河川工事關係地を
視察するところあつたが明二
十八日四倉町上水遊藝形式に
臨み同日夕陽の發定の由、
渡邊農産品評會
石城郡渡邊町農産品評會の盛
物品評會は來る十二月二、三、
四の三日間同村小學校に於て
催されるが農田郡農技手會
に出張する

山田村品評會
石城郡山田村に於ける村農會
主催の農産品評會は來る十二
月二、三、四の三日間同村小
學校に於て催されるが農田郡
農技手會に出張する

役馬利用講習の
映画會
縣主催の役馬利用講習會は來
る十二月十二、三の兩日平市
で映画化を一般の觀衆に供す
る等であるが農務課から河原
田技師出張指導隊とすると

底引網の密漁
石城郡江名町坂部高藏(三)は
去る十七日相馬郡原町沖合に
於て豐間村鈴木彦吉(四)と所
有船龍丸(二十噸)で底引網
の密漁をなせること發覺して
中村署の取調中である

今晩は北西の風、晴
明日は北西の風、晴一時曇
(小名濱觀測所)

産業方面

豫防法 (上)

冬期間の農家に
切實な苦勞の種
戦時に於ては農村の勞働不
足から肥料の不足に伴ひ一般
に農産物の生産減退が顯著と
なるので當局に於てこれが
対策を講じてゐるが殊に病虫
害防除の宗壁を期し被害によ
る減收を最少限度に阻止する
ことは今日の農村に於て極め
て緊切な事であると思はれ
る、その意味で次に冬期間の
農家にとつて切實な苦勞の種
となる麥の菌核病防除法を中
心に箱枯れの豫防等について
農林省農務局嘱託下藤梅之丞
氏の教ふるところを次に述べ
て見やう。

麥の菌核病の豫防は、一反歩當
り一回五、六十錢ぐらゐの薬
劑撒布によつて十割、二十割
の増收は容易であり現に昭和
十年には四月月餘にわたる稀
有の降雪によつて普通栽培の
麥は殆んど全滅したるにも拘
はらず菌核病の豫防を行つた
本縣會津地方の如きは一反歩
當り四石の收獲をあげて防除
の效果の大なることを如實に
示した、更にこの菌核病の防
除を勵行すれば従來麥作不能
とされてゐた積雪期間の長い
東北、北海道、北陸地々方に
ありても現在の生産額を倍加
することは比較的容易である
と語られてゐる。

病候、三月頃の融雪期に雪
などを掻き除くと薬が霜で
たやうに變色して脆弱とな
り葉面には白色毛狀の菌糸
が蕃殖してゐるのを見る、
後には粟粉大の茶褐色の菌
核が形成されるのを見る融

雪の後は初め色の變つた莖
葉も全く腐敗し日を経るに
つれて乾燥して灰白色とな
り、地方面にベタ／＼と接
着するやうになる、

◇一般印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

お醤油は ヤマフル

醤油 味噌
たひら正宗
鯉節 食料品

山崎合名會社
電話 一〇〇番
本業部 二七〇番
山崎與三郎

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

デリーサーサービス

特にマルトモの
ランチは...

日	割	月	火	水	木	金	土	日
品	品	品	品	品	品	品	品	品
目	目	目	目	目	目	目	目	目
定	定	定	定	定	定	定	定	定
品	品	品	品	品	品	品	品	品
目	目	目	目	目	目	目	目	目
定	定	定	定	定	定	定	定	定

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ

本年流行

ヘルベツト地
婦人シヨール
三、八〇より一三、〇〇まで
豊富陳列

ツルヤ
平四 電一四〇

専門 皮膚泌尿器科

江尻醫院
診察時間 午前八時より午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一

次

横山商店 債券部
町間仲市平
〇一六〇九東京替掛
番一七三話電

内科、小兒科、平市田町 電話五一三番
外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
高久病院 院長 醫學士 高久忠

外科一般 泌尿器科
北川外科
診察時間 晝夜
（血液検査毎日）
イソテモ
入院デキマス
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保
平市新川町二七（電四六四）

食 事
酒場を兼ねた。
喫茶
レストラン
多田井質店
債券 公債 兩替 金融
平市大工町 電話五九二番

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
九九・九電

齒科一般
中野齒科醫院
院長 醫學士 西野 次
醫學士 中野 次
醫學士 西野 次
平市田町
（松月堂向ひ）
電話五九二番